

# 「おねがひ!!! だるま かなえて!!! えま」

私達は願かけの代表である、だるまや絵馬など民俗部門の資料を用いて展示制作を行いました。資料の作られた場所や時代による変化を見ることによって、人々がどのようなことを願っていたのかを知ってもらうことが狙いです。展示の構成は相州だるま・全国のだるまコレクション・絵馬の大きく分けて3つです。平塚市でつくられた伝統ある相州だるまは今回の展示の見所の1つです。また、ひな段にのっているだるま達の地域による形の違いもお楽しみ下さい。そして、

絵馬では現在では使われていない図柄のものも展示しましたので、現在の願いと比べてみてください。

この展示を通して、だるまや絵馬をより身近なものに感じて頂けたら幸いです。お願いごとコーナーも設置しましたので、ご来館の際には是非皆さんのお願いごとを飾って下さい。



実習生と完成した展示

## 博物館実習を終えて

この7日間で私たちは学芸員の仕事について、展示企画・普及活動に参加させて頂き、大学の授業だけでは学べないような多くのことを体験する事ができました。今回の企画展示ではテーマを与えられず、一から自分たちで企画の発案から制作までを行いました。一番苦労したことは時間配分やテーマ・ねらいを考えることです。今まで展示を見る側だったのが実際に展示する側になったとき、小さい子や年配の方まで幅広い年代の方に見やすい展示にするために、文字の大きさ、漢字の振り仮名、パネルの高さなど細かい点まで気をつけなければならず、実習生みんなで根気よく話し合いました。20大学から集まった21名の実習生が、短期間で展示を仕上げなければいけないという日程のなかでも、全員が一丸となって展示を制作し完成できた事は、これからの人生において貴重な経験になったと思います。実習期間中お世話になった学芸員の皆様には本当に感謝するばかりです。(日本大学 金子由梨奈)

展示制作中



9/9(水)～9/16(水)

一週間の博物館実習のなかで学芸員の方々、実習生のみんなにはとてもお世話になりました。この平塚市博物館は地域交流が盛んな博物館であり、普及活動としてフィールドワークや各部門の研究を行っています。その活動について私たちは新たな企画を発案し会員の方々に発表しましたが、既存の活動に比べてとても安易なものになってしまいました。そこで、その普及活動をこの博物館でやる意味を考えなければならないということを学び、それがどんなに大変であるかを実感できました。この実習では来館者としての視点だけでなく、学芸員の視点から物事を見ることができ、とても良い経験になりました。この実習で学んだことを将来に活かせるように日々精進していきたいと思えます。一週間ありがとうございました。

(法政大学 野木元輝)

普及活動の企画発表



このページの編集も博物館実習生が担当しました